

2019年6月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+4.9	立 川 店	△10.9
堺 店	△9.2	大 宮 店	△4.9
京 都 店	+1.1	柏 店	△2.0
泉 北 店	+3.3	(株)高島屋単体 13店舗	+0.7
日 本 橋 店	+1.9	岡 山 高 島 屋	+4.3
横 浜 店	△0.5	岐 阜 高 島 屋	△0.5
港 南 台 店	+0.2	米 子 高 島 屋	△5.9
新 宿 店	△1.8	高 崎 高 島 屋	△0.8
玉 川 店	+0.8	(株)高島屋単体 および 国内百貨店子会社 17店舗	+0.7

※京都店の売上高は「洛西店」を含みます。

※横浜店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン海老名店」、柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

※日本橋店は昨年9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それらを調整した実質では前年比+4.1%となります。

■ 概況

○6月度の店頭売上は、ラグジュアリーブランドを中心とした高額品売上が引き続き伸長したほか、クリアランスセールが昨年より1日早い28日（金）にスタートしたことなどから、前年実績を上回りました。

なお、免税売上は前年比△8.2%となりました。

○店舗別売上は、大型店では大阪店、京都店、日本橋店が前年を上回りました。地方郊外店では、泉北店、港南台店、玉川店、岡山店が前年比プラスとなりました。なお、立川店・堺店は前年同月比で売場面積が縮小しております。

日本橋店も、昨年9月からレストラン街の運営を東神開発に移管したため、百貨店としての売場面積が縮小しております。

○商品別売上は、紳士服、特選衣料雑貨・宝飾品・子供情報ホビー・食料品（当社分類による17店舗ベース、以下同じ）などが前年比プラスとなりました。一方で、紳士雑貨・婦人服・婦人雑貨・リビングなどは前年に届きませんでした。